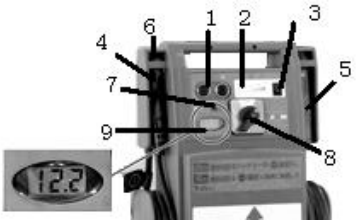
2010.5

取扱説明書
パワー・ソース　ＤＣ１２／２４Ｖ　電圧テスター付　非防水
品番：＃３３２４９　型式：Ｐ１２２４Ｔ

１，各部名称



1	シガーライターソケット	6	クリップホルダー
2	バッテリー容量ランプ	7	充電入力端子
3	バッテリー容量確認スイッチ	8	切替スイッチ
4	黒色クリップ	9	電圧テスターのモニター
5	赤色クリップ		

２，充電方法

⚠充電に関する注意事項

①充電時間はバッテリーの状態により異なりますが、５～１３時間で満充電になります。**連続３６時間以上の充電は絶対にしない**で下さい。
②１３時間以上充電しても満充電にならない場合は、バッテリーの消耗が考えられます。有償にてバッテリー交換を致します。
③必ず**未使用でも、３ヶ月毎に充電**して下さい。

①本機の切替スイッチを『**ＤＣ２４Ｖ**』側にして下さい。ＤＣ１２Ｖ側では充電出来ません。
②充電アダプターをコンセントに、他端を充電入力端子に差し込んで下さい。充電アダプターのランプが赤色に点灯します。
③バッテリー容量確認スイッチをＯＮにすると、バッテリー容量ランプが点灯します。バッテリー容量ランプは、現在の充電率を表します。**１００%のバッテリー容量ランプ、充電アダプターの緑色ランプ点灯**で満充電です。充電完了後は１時間以内に充電を止めて、充電アダプターを本機とコンセントから抜いて下さい。尚、充電アダプターのランプは、バッテリーの状態によって、緑色と赤色が交互に点灯することがありますが、この状態でも満充電です。

３，使用方法

①車のイグニッションをＯＦＦにして、目を保護する眼鏡を掛けて下さい。
②**乗用車（ＤＣ１２Ｖ車）に使用する場合はＤＣ１２Ｖ側**に、**トラック（ＤＣ２４Ｖ車）に使用する場合はＤＣ２４Ｖ側**に切替スイッチを切り替えて下さい。
③車のバッテリー配線は外さずに、赤色クリップをバッテリーの陽極（プラス端子）に、黒色クリップをバッテリーの陰極（マイナス端子）、又はエンジンブロックに接続して下さい。**この時、クリップ（コード）がベルトやファンに接触しない様に注意**して取り付けて下さい。
※本機のクリップを車のバッテリー端子に逆に接続するとブザーがなります。正しく接続して下さい。
⚠**パワーソース単独ではエンジンの始動は出来ません**。必ず車載バッテリーを併用して下さい。**車載バッテリーの電圧はＤＣ３．６Ｖ以上必要**です。（逆接保護防止器付の為、ＤＣ３．６Ｖ以下のバッテリーではスイッチが作動しません。）
⚠本機には車載バッテリーを測定するテスターが付いています。車載バッテリーがＤＣ３．６Ｖ以上ある時は、クリップを車載バッテリーに接続と同時に電圧テスターのモニターに車載バッテリーの電圧が表示されます。ＤＣ３．６Ｖ以下の場合は、自動で電圧テスターのモニターに車載バッテリーの電圧が表示されません。この場合、バッテリー容量確認スイッチを押して下さい。
④イグニッションキーを回して、エンジンを始動させて下さい。
⑤エンジンが**６秒以内に始動しない**場合は、イグニッションキーを**ＯＦＦ**にして、クリップを車載バッテリーに接続したまま、３分後に再始動を試みて下さい。それでもエンジンが始動しない場合は、**本機の能力不足、車側の故障**が考えられます。
⑥エンジン始動後、黒色クリップを先ず外し、その後、赤色クリップを外して、**クリップホルダーに収納**して下さい。
⑦使用毎に本機を必ず充電して、**１００%のＬＥＤランプを点灯**させて下さい。
※バッテリー容量の確認は、**切替スイッチをＤＣ２４Ｖ側**に切り替えて、バッテリー容量確認スイッチをＯＮにして下さい。
⑧ＤＣ１２Ｖ（１０Ａ以下）電源の電化製品を使用する場合は、シガーライターソケット（出力）に電化製品のシガーライタープラグを差し込み、使用して下さい。

４，注意事項

⚠危険（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う事になるもの。）

①エンジン始動時にクリップは、決して取り外さないで下さい。
②使用前には、車側の電圧（ＤＣ１２Ｖ、ＤＣ２４Ｖ）と本機の切替スイッチの電圧を確認して下さい。
③**乗用車（ＤＣ１２Ｖ車）に使用する場合は、必ず切替スイッチをＤＣ１２Ｖ側**にして下さい。重大事故に繋がります。

⚠警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う可能性のあるもの。）

①トラック（ＤＣ２４Ｖ車）に使用する場合は、２ケのバッテリーを直列に接続している位置のプラス、マイナス端子、及び片側のバッテリー（ＤＣ１２Ｖ）のみには接続しないで下さい。
②本機は、自動車用鉛バッテリー専用のエンジン始動機です。他のバッテリーには使用しないで下さい。
③本機に**金属類を差し込んだり、接続しない**で下さい。ショート、発火の原因になります。
④本機を乱暴に扱ったり、落とさないで下さい。
⑤本体、ケーブル、クリップ、充電器等に、破損箇所、異常がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。
⑥火の気、可燃性物質の無い、風通しの良い場所で使用して下さい。
⑦使用前に、安全手袋、安全メガネ等を着用して下さい。又、指輪、ネックレス等の導電性のある装飾品は取り外して下さい。
⑧バッテリー液が身体、目に付着した場合は、直ちに洗い流して下さい。目に入った場合は医師の診察を受けて下さい。
⑨本機を傾斜面、軟弱地では使用しないで下さい。使用中に本機が安定せず、転倒して重大事故に繋がる恐れがあります。
⑩**導電性のある場所にクリップを置かない**で下さい。感電、火災の原因になります。
⑪本機を車等で持ち運びする際は、**クリップがクリップホルダーに確実に収納されている事**を確認して下さい。又、**周囲に導電性の物が無い事を**必ず確認し、手の届く範囲に置いて下さい。クリップが導電性の物に接触し、スパーク、火災の原因になる恐れがあります。

⚠注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）

①本機を水に浸けたり、雨ざらしにしないで下さい。本機故障の原因になります。必ず屋内で使用、保管して下さい。
②凍結したバッテリーには使用しないで下さい。
③本体、充電器の改造、分解はしないで下さい。本来の能力を発揮出来なくなる恐れがあります。
④連続３６時間以上は充電しないで下さい。本機、バッテリー破損の原因になります。
⑤本機の純正バッテリー、及び部品以外は取り付けしないで下さい。
⑥本機は寒冷地仕様、著しく消耗したバッテリーには使用出来ません。確認後、使用して下さい。

株式会社パーマンコーポレーション
〒５５０－００２１　大阪市西区川口４－１－５
フリーダイヤル　０１２０－２０２－８００